

静岡県立図書館の計画がめざすもの

小野田泰明（東北大学）

図書館という施設型

歴史上に登場する最古の図書館は紀元前7世紀、アッシリア王アッシュルバニパルの王宮図書館であったとされている(Mardon, 2021)。物語の収集家でもあった王は、範土を広げるたびに文書を集め、医学、語彙、物語、宗教、法律・判例・行政文書、呪術、天文学など、約3万タイトルに渡る大図書館を構築した。紙が発明されるはるか前のことで、情報は楔型文字で粘土板に刻まれていた。その後、製本、紙、活版印刷という技術の発明に伴って、図書館はさらに発展し、著作権の制度化にともなう納本制度や大航海時代における博物学の隆盛を受けて、世界像を表象する巨大施設として確立していく。このモデルは、大戦を契機に、人々が適切な情報に接することが、コミュニケーションと相互理解の基本となることが理解されることで修正され、人々に近い所に親しみやすい空間群を並置する現在の姿に帰着する。1954年に日本図書館協会がとりまとめた「図書館の自由に関する宣言」もそうした思想の表れである。こうした長い歴史を持つ図書館ではあるが、長く続いた紙と書籍からデジタルへの移行が始まる現代において、大きな変革を迎えている。

現在の静岡県立図書館が、老朽化への対応を行いながら、これらの大きな要求を満たしていくことは、いくら優れたサービスを続けてきたとはいえ、対応することは難しい。こうして、新都心的位置づけにある東静岡駅前へ移転を通じて役割の更新を図る本事業が立ち上げられる。

一方、情報化は現在進行形の読み難い事柄であり、基礎自治体の図書館への支援など継続しなければならない役割も多い。敷地としてして設定された東静岡駅南口も古代東海道の遺構に接するとはいえ、低湿地で水田として活用されていたところを近年になって開発した場所で、周辺には土地の履歴とは関係を持たない高層の集合住宅が林立している。さらに敷地の対面には、著名建築家による巨大な文化施設が強い軸線をもって立ち上がっているが、これとの関係性のあり方も計画の難易度を上げている。

このような意味から「公募プロポーザル」を通じて広く案を募りながら最適なパートナーを選ぶ本事業は、極めて複雑で困難なミッションとなっている。人口減少下における限られた税収の中で、上振れしがちな事業費をどのように調整するかについても十分な目配りが求められることかなおさらである。

設計者の選定

そこで本プロポーザルでは、難しい判断を担う審査員団の構成こそが肝であると理解し、まずその組成に取り組んだ。特に困難を切り拓いていくリーダーシップが求められる審査委員長は、本県出身で世界的な建築家でもある長谷川逸子氏にお願いすることとした。その他の審査委員については、日本建築学会のガイドライン（日本建築学会、2020）なども準拠しつつ、審査委員長と相談して、建築専門家として北山恒、千葉学、貝島桃代、古瀬敏、図書館専門家として岡本真、是住久美子、行政からはこの分野に詳しい難波喬司が参加することが決まった。

本事業が不確定な未来に向けられたものであること、一義に価値づけることが難しい複雑な条件の敷地であること、さらには投票の逆理（単純な「投票」は参加者の望んでいた結果を必ずしも反映しないという数理）の存在にも配慮して、審査は議論を中心として投票は予備的に行うことが共有された。各審査委員は、提示された案を自らの思念に基づきながら理解し、それを言葉にして他の審査員と交換する難しい役回りであり、あて職では到底務まらないのである。

プロポーザルは人を選ぶのであるから案の表出は限定的であるべきとの意見も未だに根強いが、案を問うことなしに能力を測ることは難しいことも事実である。さらには複雑な与件の中から未来を想定することは、具体的な案を介して始めて可能となることも重要である。抽象的な美辞麗句が必ずしも我々の生活の豊かさと関連しないことを我々は経験を通じて知っている。そこで本事業では、案の提示に関する条件は緩やかなものにした。一方、本県の過去の設計者選定事業が、優れた設計者を選びながらも予算の調整に苦労したことを鑑み、公示前に試設計を展開して、盛り込むプログラムについての精査も行いながら過剰な要求内容については、一旦整理した上で条件としている。

今後に向けて

審査においては、各案の内容をそれぞれの審査委員が丁寧に読み込みつつ、積極的な議論が展開された。筆者自身も数多くの設計者選定に参加しているが、今回、経験したような緊迫感がある審査はそうあるものではない。複雑な与件に真摯に向きあわれた提案者のみなさま、それを読み解き、難しい判断を導いて頂いた審査委員団の存在無くしてあり得な

いことである。改めて深く感謝を申し上げたい。

その一方で、それがプロポーザルであれ、設計競技であれ、設計者選定は、ほぼ無償であるにも関わらず大きなエネルギーが消費される過酷な事業でもある。かつて、せんだいメディアテークの審査委員長を務めた磯崎新は、これを北米先住民固有の文化で関係の構築のために大規模な消尽を行う「ポトラッチ」を例に引きながらその同義性を指摘した（磯崎新、1995）。こうした参加者の消尽を支えるのが良質な社会資本が蓄積されることに対する期待であり信頼であるのだが、憲法学者の木村草太はこれを参加者が有する権利（期待権）として上位化し、選定側にはこれを守る責任が生じるとした（小野田、2017）。事務局の一員として本事業に関わった身として、このことは肝に銘じておきたいと思う。

選ばれた提案は、図書館という積層が難しい施設型において、それを逆手に取って魅力的空間を作り上げるとともに、今後継続的に検討が必要な所に関しては、情報専門家などからなる包括的チームを内包することで応えようという時間の設計を含んだものであった。長谷川委員長をはじめとする審査委員団が、厳しい議論の末にこの案にたどり着いた背景には、こうした未来への開かれが関係しているように思う。先のせんだいメディアテークにおいて磯崎氏は次のようにして言を終えている。「この案をメディアテークのモデルになるべく採用していかどうかという、その一点だけである。巧妙にも作者はこの問題を先送りしている。いいかえると、行政側と緊密な関係を保ちつつければ、そんな疑問を解決できるような包容力をこの案は持っていることを感じさせるような強さがある。そこで、私はプログラムとしての乱雑な他者の乱入を受容する余地を残すと同時に、それに対応する配慮を期待して、このお宅メディア的身体が、具体的に、すっきりと立ち上がることに賛成したのである（磯崎、1995）。」

審査結果が示しているのは、関係者が未来の可能性に向けて官民を超えて継続的にプロセスを構築することによって拓かれる道筋であるに違いない。この重要な過程に関わったことを光栄に思うとともに、その重さを痛感してもいる。引き続きご指導とご協力を頂ければ幸いです。

参考文献

- 磯崎 新、せんだいメディアテークの審査、（仮称）せんだいメディアテーク設計競技記録、仙台市、1995
- 日本建築学会、長く大切にされる公共施設を実現するための提言、2020
https://www.ajj.or.jp/jpn/databox/2020/202004015_release.pdf
- Austin A Mardon, Khushi Shah, Kauthar Mohammad and et.al., The World's Oldest Library: The Library of Ashurbanipal, Golden Meteorite Press, 2021
- 小野田泰明、「建築」の実現に向けて——建築の価値を発現させるていねいな発注、10 + 1 website, LIXIL 出版、2017、<https://www.10plus1.jp/monthly/2017/07/issue-02.php>

■ 共著者

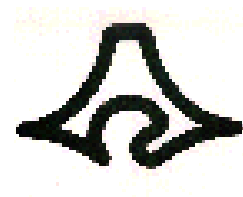
東北大学大学院 建築空間学研究室

■ 協力

長谷川逸子

■ 協力（資料提供）

長谷川逸子、北山恒、千葉学、貝島桃代、古瀬敏、岡本真、是住久美子、難波喬司、MARU。architecture、UAO・楠山・IAO 竹田設計共同体、西澤徹夫建築事務所・PRINT AND BUILD 設計共同体、SALHAUS、(株)新居千秋都市建築設計・(株)高橋茂弥建築設計事務所新県立中央図書館整備事業設計共同体、平田晃久建築設計事務所、株式会社山本理顕設計工場、遠藤克彦建築研究所・RIA 設計共同体、カワグチテイ建築計画、妹島和世建築設計事務所、シーラカンスケイアンドエイチ株式会社、一級建築士事務所 大西麻貴＋百田有希 /o+h、御手洗龍建築設計事務所・松田平田設計設計共同体、西沢立衛建築設計事務所、隈研吾建築都市設計事務所・久米設計設計共同体、坂茂建築設計・INA 新建築研究所設計共同体、株式会社高木滋生建築設計事務所・一級建築士事務所青山齊広建築設計事務所・株式会社 03- 竹森紘臣一級建築士事務所、株式会社石本建築事務所・株式会社畝森泰行建築設計事務所・企業組合針谷建築事務所、C + A・アイダアトリエ・日建設計（エンジニアリング）設計企業体（参加者については参加者番号順）



令和5年3月発行

静岡県教育委員会社会教育課新図書館整備室

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6

Tel : 054-221-3676

Fax : 054-221-3362

Web サイト : <https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/school/kyoiku/shakaikyoiku/1003942/1049475/1003952/1032025.html>

